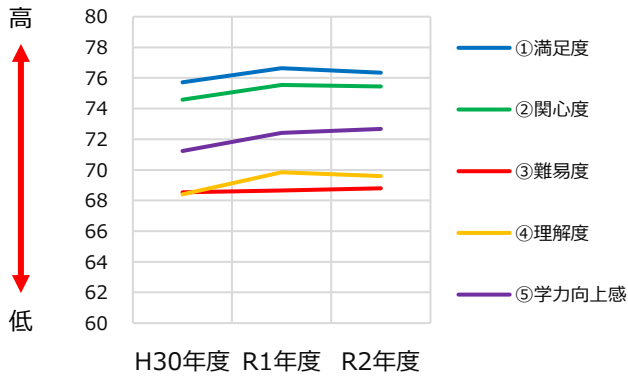


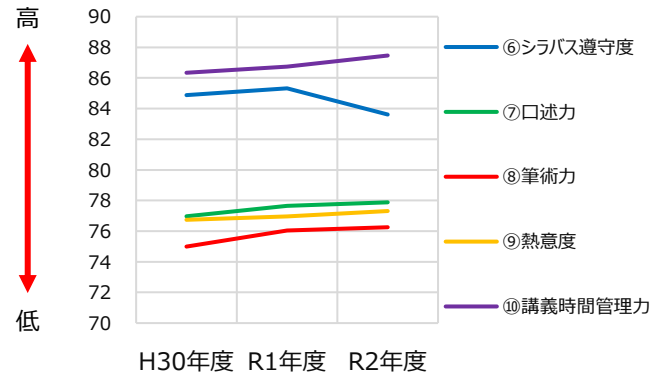
八戸工業大学 授業評価結果全学平均値（経年変化）

授業評価アンケート（設問①～⑤）



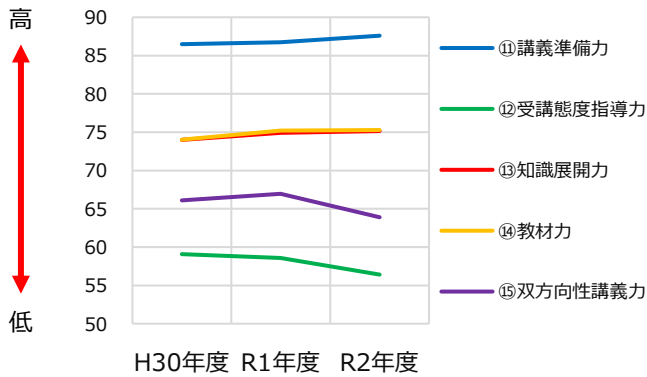
	①	②	③	④	⑤
H30年度	75.7	74.6	68.5	68.4	71.2
R1年度	76.6	75.5	68.6	69.8	72.4
R2年度	76.3	75.4	68.8	69.6	72.7

授業評価アンケート（設問⑥～⑩）



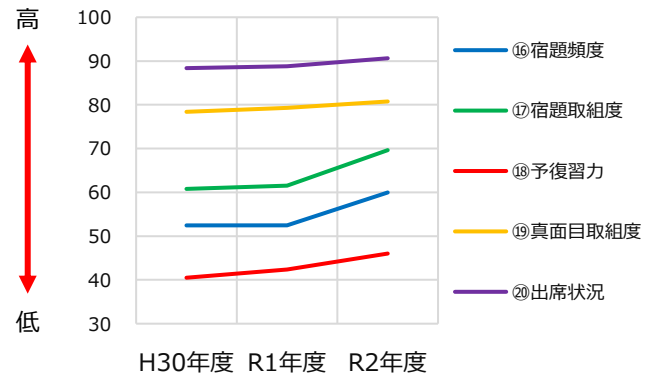
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
H30年度	84.9	77.0	75.0	76.7	86.3
R1年度	85.3	77.7	76.0	77.0	86.7
R2年度	83.6	77.9	76.3	77.3	87.5

授業評価アンケート（設問⑪～⑮）



	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
H30年度	86.5	59.1	74.0	74.0	66.1
R1年度	86.7	58.6	74.9	75.2	67.0
R2年度	87.6	56.4	75.1	75.3	63.9

授業評価アンケート（設問⑯～⑳）



	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
H30年度	52.4	60.8	40.5	78.4	88.4
R1年度	52.5	61.5	42.4	79.3	88.8
R2年度	60.0	69.6	46.0	80.8	90.6

H24年度より全科目を対象に授業評価アンケートを実施し、これまでアンケートの設問内容・表現の改善、設問数の増加、さらにH25年度に一部のアンケートの設問及び回答の内容の改善を重ね、R2年度も同様のアンケート形式にて授業評価を行った。ここでは、H30～R2年度の各設問の平均値を比較するとともに、R2年度の授業評価についての傾向をまとめる。

まず、グラフから読み取れるようにH30年度の授業評価結果に対し、R1年度を境目にR2年度は上昇している項目と減少している項目が目立つのが特徴的である。この変化の主な要因となっているのは、新型コロナウイルス感染症対策による遠隔授業の導入と考えられる。これまでは対面授業がメインで行われていたが、R2年度は多くの科目の一部授業でリアルタイム型・オンデマンド動画型・課題配布型が取り入れられた。

この対面授業から遠隔授業への切り替えによって、④理解度、⑥シラバス遵守度、⑫受講生態度指導力、⑮双方方向性講義力が2～3ポイント減少したものと推察される。一方、⑯宿題頻度、⑰宿題取組度、⑱予復習力が大きく上昇していることが分かった。この傾向はシラバスに授業外学習の内容・時間の記載を徹底したこと、多くの遠隔授業が課題配布型で行われたこと等によるものと考えられる。

その他の項目については、僅かながら継続して上昇している項目、あるいはほぼ一定の値で推移している項目が認められる。また、設問の一部にある自由記述欄に書かれた授業に対する学生の率直な意見等を含め、毎年実施している授業評価アンケートの結果を今後の授業改善や教育改善につなげていきたい。